

人材育成について

第7回 分野別総合PT（2009年1月9日）における人材育成についてのフリーディスカッション議論概要は以下のとおり。

<各専門委員からのご意見（代表例）>

- (1) 現場等において、技術者の高齢化が進み技術継承が大きな問題となっている。大企業や公の機関から、人材育成に関する余力、ノウハウの少ない中小企業等において、日本が固有で持っている技術を伝承するための支援を行うなど、対策を講じる必要がある。
- (2) 大学においては、各個別要素の教育はカリキュラムとして充実しているものの、要素を統合するシステム工学を学ぶ機会が少ないため、国の研究機関等とも連携して、プロジェクトの経験を積ませることが必要である。
- (3) エンジニアに対するキャリアパスの構築が必要であり、マーケットが非常に小さい分野においてどのようにインセンティブを与えるか。また、日本では経験の場が少ない分野において、海外における活動をどのように広げるかが課題である。
- (4) OJTによる教育が重要であり、プロジェクトの中で人を育てるべきである。
- (5) 企業が求めるような人材を育成するために、特にシステムが巨大化する場合など、国の機関と大学が共同で、人材育成に取り組む必要がある。
- (6) 技術の成果が社会に展開される仕組みを念頭に置いた研究開発がなされる組織作りが重要であり、研究・開発・製造・普及の分野融合の概念が必要である。企業が求める人材を大学が輩出するために、インターンシップ等の産学連携を通して、製造や普及の理解強化を図る必要がある。
- (7) 大規模な科学技術を扱う分野においては、全体を俯瞰的に見渡せる人材を育てるという観点も必要である。

<今後の検討方針>

- 各分野別PTにおいては、分野固有の問題点を中心に議論し、具体施策にどう反映させるかを検討すること。
- 各分野だけでは解決できないような課題については、問題点を具体的に提示して頂きたい。